

講師プロフィール

積山 洋氏



(一財)大阪市文化財協会 学芸員 得意分野：古代都城、塩業・漁業、牛馬論、近世考古学
【経歴】
1982年(昭和57) 大阪市立大学文学部史学地理学科卒業。
1983年(昭和58) (財)大阪市文化財協会調査員。その後、同協会難波宮調査事務所長、大阪歴史博物館学芸課長代理など。
2014年(平成26) から現職。博士(文学)。
御勝山古墳が築かれたのは古墳時代前期末頃で、渡来人たちが本格的にやって来る少し前の時代です。全長約110mの前方後円墳に葬られた首長像を探ってみます。

小田木 富慈美氏



(一財)大阪市文化財協会 学芸員 得意分野：近世考古学、国産陶磁器、輸入陶磁器
【経歴】
1990年(平成2)富山大学大学院人文科学研究科卒業。
1990年(平成2)(財)大阪市文化財協会調査員。
近世の大坂を中心に、輸入陶磁器を含めた陶磁器の流通、鋳物生産などについて研究。百済郡について、成立の背景・土地開発・寺院・手工業生産など、最近の発掘調査の成果からその姿を明らかにしたいと思います。

まち歩きコースと集合場所



新型コロナウイルス感染防止のためのお願い

- (1)参加者の皆様にはマスクの着用、手指の消毒、他の方と十分な距離を保って会話はお控えください。
- (2)当日の朝に検温をして頂き、発熱や咳・咽頭痛など風邪の症状のある方の参加はご遠慮ください。
(参加制限 37.5度を目安)
- (3)今後の感染状況によっては中止にさせていただく場合がございますのでご了承ください。
- (4)ガイドおよびスタッフの指示にしたがってください。